

2026 年度 三草山ゼフィルスの森 保全事業計画

1 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（継続）

1 回以上の検討会議の開催を予定する。中間報告など必要に応じて随時会議を開催する
場合がある。

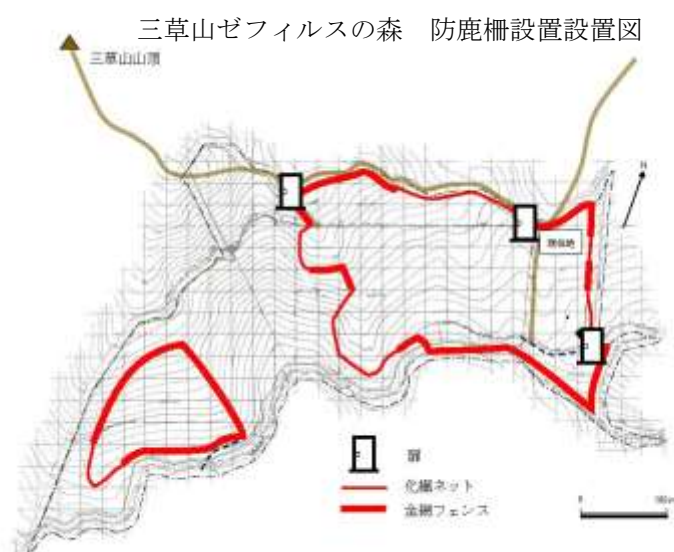
2 保全作業【森の更新・管理など】

（1）広範囲の防鹿柵設置（継続）

2026 年度は、東側エリア及び西側エリアの既設の化繊ネットを金網フェンスに更新
する。

【理由及び経緯】

「三草山ゼフィルスの森 3 カ年事業計画（2023～2025 年度）」では、2026 年度末
までの 4 年間で、ゼフィルスの森全域に防鹿柵を設置する計画であった。2023 年度は
全体の設置線を決めるなど設計準備を行い、2024 年度に東側半分のエリア、2025 年度
に残りの 7ha のうち西側半分で既設の化繊ネットを活用しつつ、金網フェンスを新設
することによって防鹿柵を設置することができた。計画では今年度、中央エリアに金網
フェンスを新設し、設置を完了することとなっていたが、2025 年 3 月に獣害対策の専
門家と設置状況を確認したところ、既設の化繊ネット部分及び化繊ネットと金網フェン
スの繋ぎ目などからシカの侵入が認められたため、その対策が必要となった。このため、
今年度は既設の化繊ネットを金網フェンスに更新し、中央部分への金網フェンスの設置
は、来年度実施することとする。



化繊ネット部分を、今年度金網フェンス
に更新予定

(2) 山腹崩壊修復地の植生回復状況のモニタリング（継続）

西側エリアの山腹崩壊地の植生回復状況について、モニタリングを実施し、遷移の状況を記録する。また、侵入が確認されている外来植物除去も継続して行う。

(3) 広葉樹苗育成（継続）

今後伐採地や山腹崩壊地等に植樹することを目標に、前年度に採取したドングリおよび秋に採取するドングリを用いた苗づくりを行う。苗づくりに際しては、引き続きささゆり学園（能勢町立小中一貫校）に協力を求める。

(4) ボランティア保全活動（継続）

例年通り、ボランティア定例活動で行われる次の団体に対して、支援を行う。

対象団体：

①能勢みどりすとクラブ

支援内容：活動への助成

②能勢の里山を繋ぐ会

支援内容：活動地と施設等の提供

上記2団体による活動内容例：

- ・既存管理歩道の補修
- ・防鹿柵内坪刈り
- ・苗畑管理
- ・神山進入路補修（石畳づくり）
- ・登山道・林内整備
- ・防鹿柵メンテナンス
- ・タガメの田づくり活動地保全活動（草刈りなど）
- ・その他

(5) 萌芽更新施業の実施（継続）

なお、2019年度から行ってきた萌芽更新施業がゼフィルス類の生息環境に与える影響を見極めるため、今年度は萌芽更新施業を行わない。

4 調査など

(1) ゼフィルス類等チョウ類の生息状況調査（継続）

・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査（継続）

日本鱗翅学会近畿支部・大阪公立大学と連携し、6月中旬に実施する。

・チョウ類トランセクト調査（継続）

ゼフィルスの森全域に防鹿柵を張るため、施業前後の変化を確認することを目的に、専門家の協力を得て、チョウ類のトランセクト調査を実施している。今年度も引き続き4月から10月の間、月に2回の調査を実施する。

(2) ゼフィルスの森動物種調査（継続）

大阪公立大学上田昇平准教授によるゼフィルスの森におけるライトトラップボックス法による蛾・甲虫類の調査を支援する。

(3) ゼフィルスの森植生調査など（継続）

大阪公立大学藤原宣夫教授による、山腹崩壊地植生モニタリング調査を支援する。

(4) タガメの田づくり活動地耕作放棄地での水田再生の研究（継続）

大阪公立大学築瀬雅則助教によるタガメの田づくり活動地における水田再生の研究を支援する。築瀬助教には、タガメの田づくりで使用する稲苗の提供およびイベント実施時の講師としてご協力いただく。

(5) マレーゼトラップによる飛翔性昆虫調査（新規）

大阪府及び能勢町における生物多様性の豊かさを測定する観点から、大阪公立大学上田准教授と大阪市立自然史博物館が、2028年度末まで三草山ゼフィルスの森内にマレーゼトラップを設置してハチ類を中心とした飛翔性昆虫などを捕獲し、記録する生物相の調査を支援する。

5 普及啓発

(1) 三草山における環境教育（継続）

① 近隣の学校による実践

ささゆり学園（能勢町立小中一貫校）、関西大学第一中学校などが三草山ゼフィルスの森やタガメの田づくり活動地を利用して実施する環境教育に協力する。

② 都市部の子どもたちに対する実践

企業 CSR 活動等で都市部から子どもたちが訪れる機会を利用して、専門家による森で楽しみながら自然を体感して学べるプログラムを実施する。

(2) 観察会の開催（継続）

例年実施しているゼフィルス観察会を実施する。

日程：6月14日（日）

(3) タガメの田づくりイベント（継続）

三草山のふもとのタガメの田づくり活動地で行っている3回のイベントを実施する。イベント参加者に対して、ゼフィルスの森の紹介をし、森と水田などふたつの環境が必要な動物などの例を挙げながら里地里山一体で保全活動の必要性を伝える。

田植え：5/24（日）

稲刈り：9/27（日）

冬支度：12/6（日）

- (4) 他団体が三草山ゼフィルス森を活用して行うイベントのサポート（継続）
企業等による CSR 活動への支援、メディア取材への対応、ハイキングへのガイド派遣等を行う。
- (5) ハイキングコース設置ルートの検討（新規）
三草山ゼフィルス森内で、一般の方が散策しやすいルートを検討し、整備を行う。

6 その他

- (1) 巡回活動（継続）
地元住民（6 名）に委嘱し、巡回活動（年 12 回）を実施する。
- (2) 地上権料支払（継続）
地権者に対して地上権料を支払う。
- (3) 能勢町との連携（継続）
観察会などのイベントを行う際には、能勢町観光協会や、能勢の里山活力推進協議会に協力をあおいで広報などを行い、都市部の市民にも参加を呼びかける。